

トイザラス権原店開店記念式典における

ジョージ・ブッシュ・アメリカ合衆国大統領のあいさつ

(一九九二年一月七日、権原市)

皆さんありがとうございます。まず柿本知事と三浦市長に対し、温かい歓迎に感謝申し上げますと共に、日本の古い由緒ある町、この権原市を訪れることができ、妻バーバラと私がいへん光榮に思っていることを、ご出席の皆さんに申し上げたいと思います。

さらに、渡部通産大臣には、ご同席いただき、お礼申し上げます。通産省は、大店法の改正に大いに尽力されました。私個人としても、大臣には本日時間をさいて同席していただき、たいへん感謝しています。

またチャールズ・ラザラスさん、ご紹介の労をとっていただき、ありがとうございます。本日のトイザラス開店の日を盛大に迎えた喜びを、このようにあなたと共に分かちあうことができ、嬉しく思っています。私の孫たちは、私がアジアを訪問することを聞いて、今回の旅のハイライトはきょうだ、と思ったようです。きょうはトイザラスに立ち寄る日だからです。しかし、孫たちには、おばあちゃんが私の小遣いを減らしてしまったので何も買えなかった、と言わなければなりません(笑い)。

本日私たちが目にはしているのは、私たち同様に、日本の消費者の皆さんにとっても、日本の流通制度における主要な障壁を取り除く努力が実ったという事実です。長年、アメリカの小売業者は、日本市場での競争を求めてきました。日本は世界第二の経済大国であり、日本の消費者は、自分や家族にとって選択の幅が広がり、価格が下がり、確かな品質の商品が手に入ることをますます求めるようになっていきます。

しかしこれまで、国内規制、とりわけ、大店法が外国の小売店の新規開店を事実上不可能にしていたために、アメリカの企業はまったく進出できませんでした。私たちは、現政権の発足以来、一つの重要な貿易政策目標を掲げてきました。それは、アメリカの財とサービスの販売を阻む障壁を取り除くことでした。

そして一九九〇年、私たちは、日米構造協議、いわゆるS I I——貿易と国際収支の調整を妨げている根本的な経済障壁を除去し、市場開放を促進するための協議——に着手しました。実際S I Iのおかげで、日本市場でのアメリカ企業の競争を阻んでいる規則的をしぼって取り組むことができるようになりました。

そして日本は大店法を改正し、それによって、開かれた貿易にとっての主要な障壁の一つが緩和されました。これで日本の消費者——つまり日本の購入者——も、わが国の労働

者もその恩恵を受けるのです。日本の消費者は、品ぞろえがより豊富で、もっと価格競争力があり、品質の良い世界中の商品をそろえている小売店で買物をするようになるでしょう。そしてアメリカ企業は、この巨大で有望な日本市場でビジネスをし、商品を販売することができるようになるでしょう。

私たちが今日ここに集まっているのは、トイザラスがS・I・Iのもたらした挑戦を受けて立つ用意があり、日本の「石の上にも三年」ということわざ通りに行動したからなのです。六十億円という日本の玩具市場を開放させるためのトイザラスの三年間にわたる闘いから学ぶべきことは多々あります。

つまるところ、アメリカの大規模ディスカウント・ストアーが日本でオープンするのは、これが初めてであり、トイザラスが道を切り開いたのです。ですから、今後は玩具店からハイテク製品の小売店まで、あらゆる種類の企業が参入できます。

私は、トイザラスが、この偉大な国で続々と開店するアメリカ小売店の第一号にすぎないことを願っています。アクセスの拡大は素晴らしいことであり、アメリカでより多くの雇用を創出する一助になるでしょう。日本の小売市場の開放によって、わが国の製造業者、とりわけ小規模の製造業者は、これまで手の届かなかった市場へ参入する道が開かれますし、日本の消費者は、選択の幅が広がり、世界の一般品が買えるようになります。

日米関係は、世界で最も重要な経済関係の一つです。日米両国で、世界の国民総生産の四〇％以上を生み出しており、従って、両国のとる行動は、単独であれ、共同であれ、多くの国々に影響を及ぼします。

これまで両国は密接に協力してきました。例えば、先進国首脳会議でも、G七の枠組みでも、国際金融機関においても、世界の成長と共通の繁栄を促進するために、緊密に協力してきました。日米両国は、これらの共通の目標に共に取り組んでいます。

しかし、両国はまだ多くの課題に直面しています。両国はパートナーとして、互いに、自由貿易と開放された市場から恩恵を受けていることを認識しなければなりません。日米経済関係は、どちらにとっても、ゼロサム・ゲームではないのです。私たちは、これまでの成果を喜ばしく思ってはおりますが、このように小出しに貿易協定を結ぶだけで満足しているわけではありません。私たちは、自由で開放された貿易によって、市場参入とアメリカの対日輸出が恒久的に改善し、日本の消費者の生活も恒久的に改善するような合意を達成したいのです。

きょう私がとてもうれしいのは、私たちが今、ダイナミックで新たな経済関係の始まりを目にしているからです。それはより均衡のとれた関係です。この二つの偉大な国、二つの偉大な経済、そして両国の有能で革新的な国民の間に築かれた前向きなグローバル・パートナーシップに基づき、両国が世界のためにできることは多々あります。日米が一丸となれば、大いなる前進が可能でしょう。

最後に次の二点だけ申し上げます。私はアメリカ合衆国大統領として、日本とわが偉大

な国との重要な関係を維持・強化するために、最善を尽くすつもりです。

この努力は、世界平和と密接に関連しています。また世界経済の安定とも大いに関連しています。そして、それは、二つの偉大な経済・民主大国が協力し、世界中の国々に範を示すこととも深く関わっているのです。

そして最後に——これで私の話を結びますので、皆さんさぞお喜びかと思いますが——このすばらしい町の皆さんが、妻パーバラと私をこのように温かく迎えて下さったことに心よりお礼申し上げます。私たちは、ここでヘリコプターを降り、皆さんのすばらしい笑顔と、心温まる日本式のお出迎えを受け、たいへん感動し、感謝の気持ちで一杯になりました。皆さんの温かい歓迎は、日米間の友情を如実に物語っていると思います。

ありがとうございます。皆さんお一人お一人に神のご加護を。